

平成25年度 事務事業マネジメントシート

事業名	地域防災事業			会計	款	項	目	大	小
				01	09	01	05	02	02
政策	02	2節	生活の豊かさを実感できる流山（生活環境の整備）	主管課	防災危機管理課				
施策	2-3	自然災害・都市災害への備えと予防		主管課長	山崎 英彦				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市民等、自治会、自主防災組織	意図	防災意識の向上や防災力の向上を図り、災害に強い地域づくりを行う。
事業内容	総合防災訓練や地域での防災訓練の実施及び防災リーダー研修会を実施する。自主防災組織の設立を自治会に働きかけ、自主防災組織に対して防災資機材の提供や消火器維持管理費補助金事業を実施する。			
事業開始から現在までの状況変化	東日本大震災以降、自治会や自主防災組織の間で防災意識が向上しており、自主防災組織に対する支援は重要性を増している。また平成25年度は、関係機関との連携を重視した総合防災訓練を実施した。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成23年度	平成24年度	平成25年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		①	自主防災組織総数	118	118	122	
②	市総合防災訓練参加者	900	941	630	人	↑↑↑	
③	自主防災組織率	68.20	68.20	69.70	%	↑↑↑	自主防災組織数÷自治会数
④							
指標で表すことができない定性的な成果	目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）						
事務事業のコスト		平成23年度	平成24年度	平成25年度	防災意識の向上により、防災訓練や防災講話の実施についてのニーズが高まっている。これらの参加、協力依頼があった際には自主防災組織の重要性を説明している。また、平成25年度には関係機関との連携を重視した総合防災訓練を実施した。来年度については、市民参加を重視したプログラムとし、市民の防災意識の向上を図る。		
事務事業の総コスト(a=b+c)		16,709,441	4,523,218	12,036,721			
事業費(b)(円)		1,557,441	3,805,418	4,208,721			
うち一般財源		1,557,441	3,805,418	4,066,721			
職員給与費(c)(円)		15,152,000	717,800	7,828,000			
人役・職員(人)		2.00	0.10	1.00			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)				0.50			
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	B 市が担うとともに、市民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	I 拡 充 （事業を拡大して継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H25)の改善計画	地域の防災力を高めるのが自主防災組織の目的であるため、組織率100%を達成するよう目指す。	③取り組みの課題	自治会に未加入の市民やマンション組合などがあることから、その対応が課題となっている。
②今年度(H25)に実施した取り組み	関係機関との連携を重視した総合防災訓練を実施した。また地域の防災力向上のため「防災リーダー研修」を実施したほか、今年度自主防災組織を設立した団体に対し防災資機材を譲与した。	④今後の改善計画	地域の防災力向上のため、自主防災組織の設立を促進するとともに、実効性のある組織として活動できるよう支援に努める。